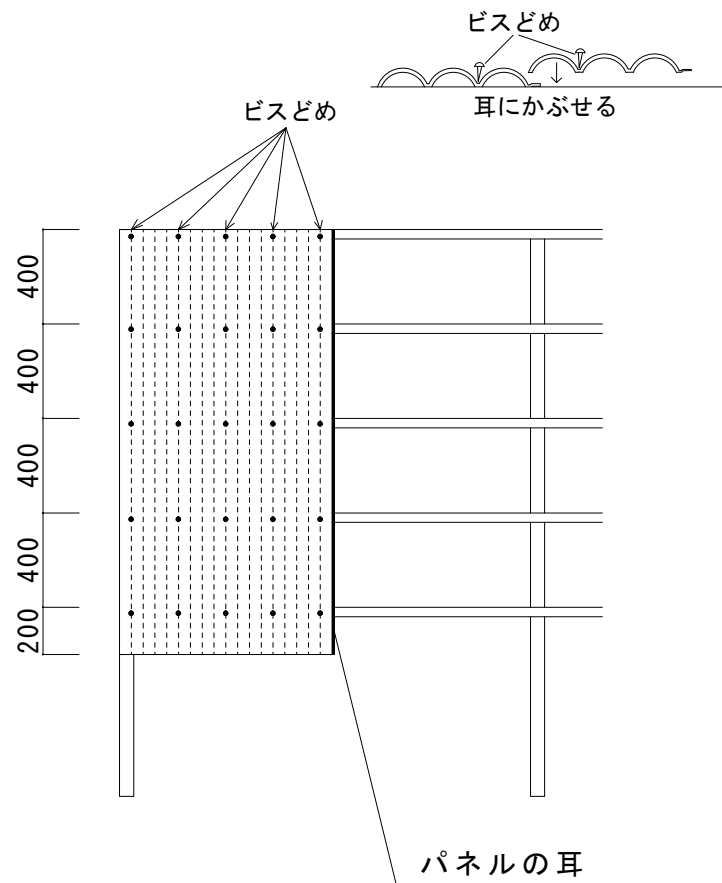
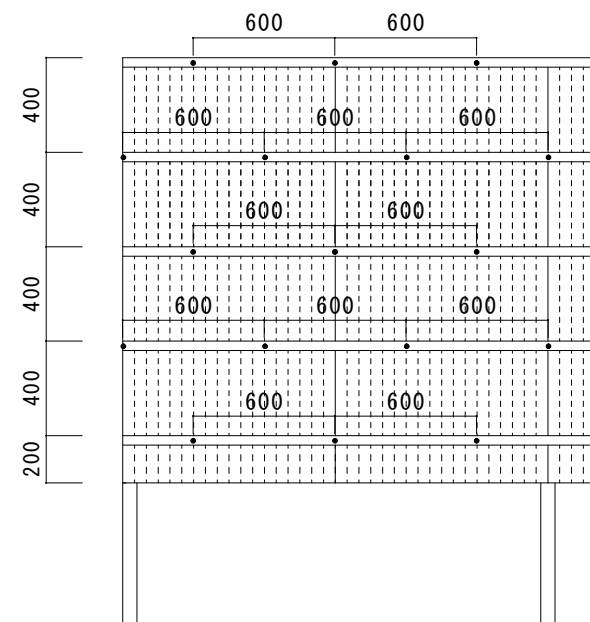


パネルの重ね方



• : ビスどめ



③ アルミ胴縁に建仁寺パネルを取り付ける

図のように、左側からパネルを取り付ける場合、パネルの耳が右側に来るように取り付けます。最後のパネルの耳はカッターナイフで切り落とします。

ビスどめの位置は横1列に5ヶ所が標準です。パネル1枚につき、4x16(黄)ビスを25本使用します。

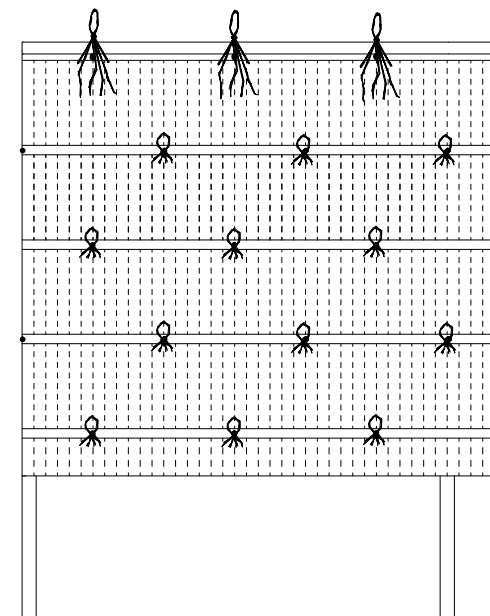
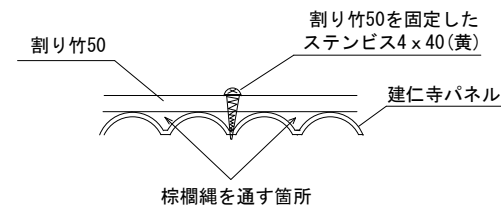
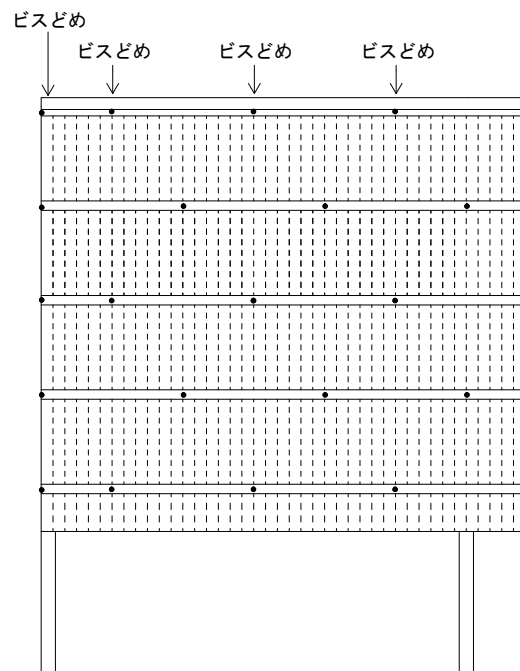
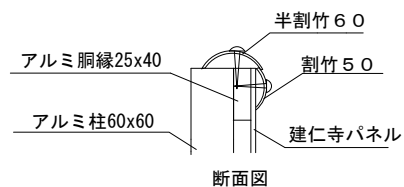
※4x16(黄)ビス使用

④ 割竹50を取り付ける

パネルの上から割り竹50をビスどめします。ビスの位置は600mm間隔が標準です。

※4x40(黄)ビス使用

注：割竹50の両端は、必ずビスどめして下さい。



⑤ 最上部に半割竹60を取り付ける

下穴をあけてからビスどめします。ビスどめ位置は、最上部の割竹50のビスどめ位置と同じ位置です。

※4x40(黄)ビス使用

⑥ 人工棕櫚縄で縛る

割竹50を固定したビスの上から化粧結びをします。最上部はパネルに8mmほどの穴をあけ、その穴に棕櫚縄を通して結びます。

人工棕櫚縄の切り口は、バーナー等で少し熱を加えるとほづれが防止できます。

最後に柱キャップをして完成です。

※棕櫚縄の結び方は、別紙参照